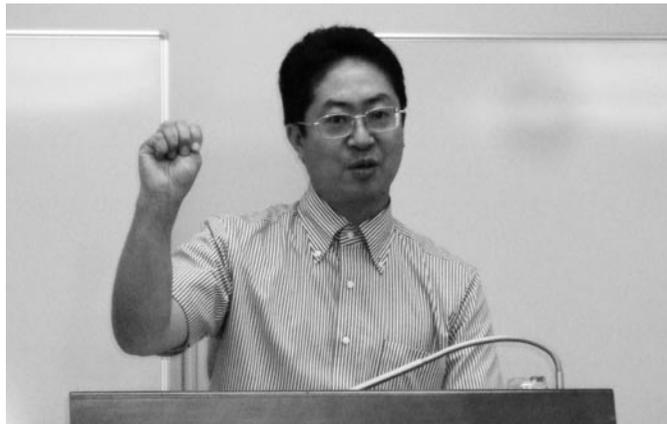


林いさお通信



ブログ：<http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228
討議資料 No. 23 食の安全 平成 20 年 7 月 1 日号林いさお後援会



講演する牧下圭貴氏

食品の偽装表示がまた発覚した。岐阜県養老町で規格外の牛肉を「飛騨牛」と、また中国産のうなぎの産地を愛知県産と、

残念ながら食品の偽装問題が続く。
折しも、6月27日、(社)東京自治研究センター主催による月例フォーラムが都内で開催された。テーマは「食の安全」、講師は、全国学校給食を考える会の牧下圭貴氏。氏は「学校給食ニュース」の発行など、「食の安全」に関する多岐にわたる活動を行っている。
食品表示に関する法律には、食品衛生法、JAS法、景品表示法があって複雑でわかりにくい。消費者は、基本的に表示されている内容を信頼するしかなく、その信頼が損なわれたら企業は社会的な責任を放棄したことになる。結果として消費者は、信頼して命を預けているわけだから、食品表示は法律や制度に向かない。従って、消費者が、いかに生産者に近くなれるか、顔の見える関係になれるかが大切だという。
氏は食の作り手を2つに分類する。一つは、経済的合理性(儲かる)を追求した市場経済の中の工場や企業などの「大きな作り手」。もう一つは、自然環境と共存し、人間や文化とつながる「小さな作り手」。「小さな作り手」は、地産地消、顔の見える関係であり、そこに近づき、自身の五感を磨き、節度ある食の中にこそ食の安心、安全があると

食の安全と学校給食



枝豆畑で 早川光男代表

◎問い合わせ先
代表 早川光男
電話 09035740324
毎年800名近い方が参加。ひまわり畑もあり、上富の自然の中で楽しい一日をお過ごし下さい。

★街角ねっと★ 『えだまめがり』
今年で4回目を迎える 体験)として参画している。
『えだまめがり』。11年前に三富の循環型農業を守っていくことを目的にできた、三富落ち葉野菜研究グループが中心になって企画、運営している。
地元淑徳大学の学生もインターンシップ(模擬社会

◎日 時
7月27日(日)
8月3日(日)
◎場 所
両日午前10時~13時
三芳町上富の畑
◎入場料 100円
◎えだまめがり料金
ひも1本88円
えだまめ採り放題

